

令和5年度第1回日進市総合教育会議 議事録

日 時 令和5年9月25日(月) 午後2時30分から午後4時まで
 場 所 日進市役所本庁舎4階第3会議室
 出 席 者 近藤裕貴(市長)、岩田憲二(教育長)、小林秀一(教育長職務代理者)、藤井美樹(教育委員会委員)、伊藤志門(同)、市来ちさ(同)、武田立史(同)
 欠 席 者 なし
 事 務 局 萩野一志(総合政策部長)、岩瀬雅哉(同部調整監)、小出誠二(同部次長兼企画政策課長)、白木誠(同課課長補佐)、山浦勝義(同課企画経営係長)、水谷大介(同課同係主査)
 説明の為に出席した者 伊東あゆみ(生涯学習部長)、加藤誠(学校教育部長)、大津正仁(主任指導主事)、高柳秀史(学習政策課担当課長)、桃原勇二(学校教育課長)
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 有(2名)
 次 第 1 開会
 2 あいさつ
 3 議題
 (1) 日進市いじめ防止基本方針に基づく重大事態の調査結果の報告
 (2) 校内ハートフレンドの現状について
 (3) 部活動の地域移行について
 配付資料 資料1 議題1関連資料
 資料2 校内ハートフレンド運営状況について
 資料3 第1回日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会説明資料

発 言 者	内 容
	1 開会
	2 あいさつ
	3 議題
	議題(1) 日進市いじめ防止基本方針に基づく重大事態の調査結果の報告 (2) 校内ハートフレンドの現状について (3) 部活動の地域移行について
	議題(1)は、いじめの重大事態に関する個別事案で個人のプライバシーを取り扱うことから、日進市総合教育会議運営要領第6条第1号の「個人の秘密を保つため必要がある」と認められ、会議構成員の総意により、非公開とする。
学 校 教 育 部	議題(1)について(資料に基づき説明)
	会議構成員の総意により調査結果、調査報告書は適切であると判断する。
市 長	議題(2)の説明をお願いします。
学 校 教 育 部	(資料に基づき説明)
市 長	総合運動公園のハートフレンドより通いやすいからなのか、明らかに利用されています。子どもたちが家から出られるためのものとして、総合運動公園のハートフレンド、校内のハートフレンド、日進市が提供する以外のものと選

	<p>扱肢はいろいろありますが、家に閉じこもりきりにならないようにとの思いで実施されています。質問や意見はありますか。</p>
委 員	<p>完全に引きこもって、家から出ない子どもはどのくらいでしょうか。</p>
学 校 教 育 部	<p>昨年度の不登校としての認定が 200 人を超えており、ハートフレンドの登録が 47 名ですので、そういう意味ではつながっていない児童、生徒さんがいるということです。</p>
市 長	<p>名古屋に通っているかもしれないし、150 人全員が完全に引きこもっている訳でもなさそうなので、後日で良いので詳細を委員に伝えてください。</p>
委 員	<p>資料を見るといろいろな使い方をしている生徒がおり、校内ハートフレンドがあることは非常に良いと思います。従来のハートフレンドと混同されやすいので、校内ハートフレンドの名前を変えると良いと思いました。</p>
市 長	<p>ほんの小さなことが原因で学校に行きたくないのであれば、それを取り除いてあげることで家に閉じこもることがないなら、すごく画期的だと思います。一方、学校教育を気軽に拒否できる点は、個々の考えを尊重しているものの、世間の納得が得られるのか難しい課題です。ただし、子どもたちがそうしたいということなので、そこは尊重してあげたいです。</p>
教 育 長	<p>給食だけでも校内ハートフレンドに来たいというのは、何らか理由があります。その理由にフォーカスできる先生を増やし、普通の学級の子どもたちにも同じように目を向けることができる学校にしたいです。教室にいたくない理由に寄り添い、分析できる教師力を付けてほしいと思います。利用が 2 限だけという子は、専門員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーなどがこの 1 時間だけでも話を聞いてあげられれば、その子にとって 1 時間が大事な時間になると思います。</p>
学 校 教 育 部	<p>先ほど委員からいただいた質問で、不登校、出席 0 日の子どもの数ですが、8 月末時点で小学校 1 名、中学校 4 名の合計 5 名となっています。</p>
市 長	<p>その数字と先ほど委員が質問された、完全に家に閉じこもっている人数とは同じですか。</p>
学 習 教 育 部	<p>社会的な接点を他で持っているかどうかまではわかりませんが、学校との接点は切れている状況です。</p>
市 長	<p>校内ハートフレンドの先生は、子どもが来ていることを親に報告していますか。</p>
学 校 教 育 部	<p>報告しています。</p>
市 長	<p>家庭内のコミュニケーションは、我々の手の届くところではありませんが、親が子のことを知る 1 つとして積極的に話をしてもらえればと思います。</p>
教 育 長	<p>家庭と協力して育てないと意味がないので、今の状況を家庭に伝えることが第 1 段階で、子ども本人にわかってもらうことです。学校でやっていることが家庭で 1 つでも 2 つでも増えていくことが保護者の成長につながり、学校と保護者で子どものことを思って同じことを言っているのだという教育的効果につながっていくと思います。</p>
市 長	<p>保護者の皆さんはこのような場所ができたことを知っていますか。</p>

学 校 教 育 部	まず、対象の子の保護者と面談し、知らせていこうという意向でした。コドモンで全保護者に校内ハートフレンドの紹介動画をご覧くださいと流したので、関心がある方には承知していただいていると認識しています。
市 長	中学生なら自分で問い合わせをしたら良いと思いますが、中学生位だとそのような感じですかね。
学 校 教 育 部	親心として手助けできる機会があるなら、という気持ちだと思います。
教 育 長	最初に定期テストをすると、300人位の学年だと0点から50点位の間に50人位の山がきます。つまり小学校の内容がわかっていなくて、授業の内容がわからない子が10%から20%位います。その子たちにとって、校内ハートフレンドに行っているかというのは、自分がだめだから行かせてほしいと親に言うようなものでハードルが高いです。不登校予備軍の最大の理由は、授業がわからないことだと思っています。1時間の授業で、授業の内容がわからないと思われる子どもに、いかに興味や関心を持たせるか気を付けている教師も多いと思います。点を取らせるための授業をやってしまうと、不満や文句も言えず、家から出るのをやめてしまいます。
学 校 教 育 部	子どものことが心配な保護者が話をする場として毎月開催している、ハッピーステップ井戸端の会で、児童が自分で調べて、ハートフレンドが西と北と総合運動公園にあると知ったという保護者の発言があります。子ども自身も自分で調べて保護者に相談していることもあります。
委 員	校内ハートフレンドがあるという情報を全員に知らせてはいけないのではと思いました。一度休憩し、充電して出ていく可能性とか、いざというときの逃げ場があることで、教室で頑張れる場合もあると思います。小学生でこれから中学校に行く子どもたちは、不安も大きいと思うので、万が一の時はそのような所があると思っていると、子どもも保護者も気が楽なのではと思います。
市 長	そうすると、いらっしゃいという雰囲気も良くないですね。
委 員	場所があると知らせるのは良いことだと思いますが、行く必要がないのに行くことは避けた方が良いと思います。自分の子どもは嫌なことがあっても教室で頑張らなければと思っているタイプでした。ハートフレンドを認めながら、教室に残る選択も認められる雰囲気も大事だと思います。ハートフレンドもある、教室で頑張る選択もあるということ、周りの保護者や大人が伝えていけるのが理想だと思います。
市 長	普通の教室に歯を食いしばって残っている子がいるとするならば、頑張っているね、それは絶対将来につながるよ、大人になっても役に立つよと言ってやりたいです。
委 員	全員が1回は行った方が良いと思います。今の新人教育ではメンタルヘルスについてやりますが、学校ではやっていない。例えば、サッカースクールなどで常に勝っていけるメンタルはあり得ないことを学んでほしいです。ハートフレンドに1年に1回ぐらい行くのは当然だという気がしますし、そのようなことができる大人になれば、社会でも力を抜けばいいんだとか、人に話せばいいんだということになる。日本では精神科に行くだけで変なレッテルを

	はられたりするるので、そうではないことを広めた方が良いと思います。強くないのが当たり前だということが根付くと良くなると思いますし、そのような使い方ができると良いのではないかと思います。
教 育 長	頑張っていることの限界を越え、学校や教室に行けなくなる子がすごく増えています。周りの環境の中で、頑張れる子にはもうちょっと頑張れ、これ以上押すと折れる子にはこういうところもあるよと言ってあげるのが良いと思います。言ってあげないと救われない子には言ってあげないとだめだし、それを言ってしまうと怠ける子には言わなくていいし、頑張れる子には頑張らせればいいし、そこはかなり力量がいると思います。そのためのきっかけになってくれればと思います。
学 校 教 育 部	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、相談員も相談などで個別の時間がない場合は、ハートフレンドの教室と一緒にいてもらい、トランプしたり、話し相手になってもらったりしている。そのような場の提供にもなっています。大学の養成課程からしっかり育てて、卵として出た人たちが社会で育ち、常駐化する中で子どもたちと学びながら、助けてあげられると良いと思います。
委 員	メンタルヘルスは幅広くて、できないところばかり見るのではなくて、できるところを育てましようというの也有ります。そういった職業をやっている人たちが食べていけるということ子どもたちが見えれば、自分も助けてもらったからそういうことをやりたいと思う子もいると思います。そのような人たちが働ける場が学校にあると良いと思います。
市 長	議題（3）について説明をお願いします。
生 涯 学 習 部	(資料に基づき説明)
市 長	市としてどのような動きをしているか紹介してください。
生 涯 学 習 部	いろいろな企業を訪問し、指導者の派遣、吹奏楽部の演奏場所や楽器保管場所の提供を依頼しています。企業ごとに協力の仕方があると思っているので、足しげく通っていきたくと考えています。先行する自治体の良い所を取り入れながら、本市のやり方を検討できればと考えています。
委 員	市には大学やグラウンドがいくつかあります。いろんな種目が実施されており、それを活用できれば学校も子どももプラスになります。指導者を目指す大学生も地域で活動する場があれば今後につながっていくと思います。
生 涯 学 習 部	ウィンウィンになる関係性がないとうまくいきません。大学は市の資源であり、活用は大前提だと考えています。
市 長	去年は記録を狙っている中学生を大学生と引き合わせました。喜んで引き受けてくれる大学生はいると思います。
委 員	教職をとっている大学生もいます。その大学生たちにとっては、中学生に教える機会があると良いと思います。
市 長	ぜひ、大学生を活用していきたいです。
委 員	先生たちがどれくらい部活をやりたくないかわかる資料はありますか。
教 育 長	小学校が資料の21ページ、中学校が23ページにあります。小学校は75%、

	中学校は53%となっています。
委員	何のためのものか考えるのが必要だと思います。部活指導はやらないのが良いのか、部活指導をすることが正しい教育のやり方だと認めてあげるのかだと思います。
市長	文部科学省は、先生の部活指導はやって構わないというものですか。
生涯学習部	地域の実情に合わせてということです。子どもたちと先生の思いを含めながら、地域移行できる部活動としなくても良い部活動と住み分けて段階的に検討していければと考えています。
市長	文部科学省も愛知県も、先生の働き方改革や部活動以外に専念してもらいたいと思ってはいるものの、部活動のためにお金を出すとは言わないです。例えば部活動指導教師という先生に部活動をやってもらい、授業はやらないという分業制も良いのではと思います。
委員	香川県のある市では時給1,600円ほど出し、部活動の教員に補助しています。分業制の他、そのように負担感を減らしてことも必要だと思います。
委員	先生たちが時短で働くと、その間子どもたちは見てもらえません。先生たちがいなくなると学校も閉じられ、せっかく整えた体育館などはもったいない気もします。そう考えると、土日先生たちがいてくれるというのは、親としてありがたいです。
市長	ぎりぎりまで学校にいてほしい、部活動で友達とのきずなを感じたい、指導者として立ち会いたいなど、いろいろな気持ちがある中、事故が起きないように見ているだけなら、教師として他にやるべきことがあり、指導者をやりたくないというのものもあるかもしれません。
教育長	地域を巻き込み、市のあり方を決めないと良いものにはなっていけないと思います。時給1,500円や2,000円では民間の指導者も来ないです。大学生も自分の大会を優先しますし、常時子どもの変化を見ながら、プロフェッショナルとしての技を教える人の確保は難しいです。検討委員会でさまざまなご意見を伺い、子どもたち、保護者の意見も聞きながら、地域と結びついた中で、子どもたちを育てていければという考えです。
市長	音楽関係はうまくいきそうですか。
生涯学習部	お金の面で運動部と違う課題もあります。受け皿もすぐにあるものではないため難しいです。
委員	学校ごとのものを残してほしい気持ちはありつつ、変わっていかねばならない部分もあると認識しています。吹奏楽で結びつき、何かを集団で作りに上げることは大きいと思います。昼間と別の指導者がいるのは良いことと感じました。そのようなことを期待する保護者は増えていると思います。
教育長	県立芸術大の学生も演奏家を目指しますが全員はなれず、そのような人の受け皿を作っていきたいという話なので、上手に活用していきたいです。
委員	県立芸術大で演奏している市内中学校の卒業生は何人もいます。技術を後輩に伝えたい学生もいると思います。
市長	部活動の地域移行は、今後この総合教育会議でもテーマにしていきたいと

	思います。今日の議題は以上です。議事進行を事務局にお返しします。
事務局	これで本日の会議は閉会します。
	(閉会)